

「ふるさと春日井学」研究フォーラム

会報

Forum for Furusato Kasugai Studies

NO. 61

「ふるさと春日井」まちづくりへの応援メッセージ

2018. 8. 12 発行

『ふるさと意識なくして地域の活性化なし』

編集責任者：河地 清

[Kawachi-k@mb.ccnw.ne.jp](mailto:Kawachi-k@mb.ccnw.ne.jp)

第 61 回「ふるさと春日井学」研究フォーラム

テーマ『戦争・産業遺構の保存と地域活性化』

—旧名古屋陸軍造兵廠鷹来製造所と保存活動の現状—

平成 30 年 7 月 8 日（日）市民活動支援センター（ささえ愛センター）において「ふるさと春日井学」研究フォーラムをテーマ：『戦争・産業遺構の保存と地域活性化』—旧名古屋陸軍造兵廠鷹来製造所と保存活動の現状—と題して、パネリストとして、金子 力氏、（春日井の戦争を記録する会会員）、渋井康弘氏（名城大学経済学部教授）、大脇 肇氏（名城大学職員）河地清氏（本会会長）に参加して頂き講演していただきました。

第 15 回本フォーラム（2014.6.1）においてテーマ「春日井の戦争遺構—ふるさと春日井・軍都の時代—」で金子 力氏によって講演していただきました。参加者は、36 名でした。

私たちは、旧名古屋陸軍造兵廠鷹来製造所（現在名城大学農学部附属農場）の建築物は、戦争・産業遺構として春日井市民の重要な歴史遺構であり資産でもあると位置づけています。名城大学学内からも、春日井市民からも、なんとか保存してゆけないものかとの声は以前からあがり続けてまいりました。今回再びこの歴史遺構の保存の意義を考えるべくフォーラムを開くことにいたしました。

フォーラム参加者は、21 名でした。



講演するパネリスト諸氏の紹介



会場風景

## －発表要旨－



司会；梶田正勝 氏

テーマは『まちづくり』と地域活性化とし、パネルディスカッションの形でサブテーマ「戦争・産業遺構の保存と地域活性化」について4人のパネラーによる発表・提言があり、その後一般の方からの質疑をした。パネラー(専門家)は金子力氏(春日井の戦争を記録する会)、渋井康弘氏(名城大学経済学部教授)、大脇肇氏(名城大学職員)と河地清氏(本会会長)の4人であった。

I. 金子力氏は2014年6日に「春日井の戦争遺構」として本フォーラムで発表されている。今回は「名古屋陸軍造兵廠鷹来製造所跡(現名城大学農学部附属農場)、戦争遺跡の保存と活用について」と題する37頁もの資料を用意され説明された。**1-1 軍都春日井市の誕生**…昭和12年7月日中戦争開始、同年10月勝川町都市計画指定、昭和13年4月銃器多量生産研究委員会発足、鳥居松製造所建設決定、昭和14年2月鳥居松製造所建設工事着工、7月鳥居松製造所設立、昭和15年1月鷹来村に製造所用地の買収、鷹来製造所建設開始、2月鳥居松村・鷹来村都市計画指定、6月鳥居松製造所で九九式小銃生産開始、8月鷹来村都市計画指定、昭和16年5月鷹来に工具工場完成、12月鷹来製造所開設。



金子 力 氏

以上の工場設立準備を経て、昭和17年12月市制施行準備委員会設立、昭和18年6月1日の春日井市市制施行、同時に豊川市市制施行となった。この頁に「軍都春日井の歌」の歌詞が紹介された。『春日井時報』2巻13号(昭和19.7.1付)に載り、1番は「あけゆく空も さわやかに 旭光燦と 輝けば 乾坤の精気 地に凝りて 生まれし軍都 春日井市」の歌詞であった。**1-2 春日井はアジア太平洋戦争末期にできた軍都、戦時体制下で兵器増産のために町村合併し市制を施行**…愛知県下の市制施行は、明治2年に名古屋市(航空機生産)、明治39年豊橋市、大正5年岡崎市、大正10年一宮市、昭和4年瀬戸市、昭和12年半田市(中島飛行機)、昭和18年春日井市(名古屋陸軍造兵廠)、豊川市(豊川海軍工廠)と市制施行され、すべて空襲を受け瀬戸市を除いて空襲を受けた。**1-3 春日井の空襲**…昭和20年8月14日、終戦の前日に空襲を受け、焼失建物、被弾地が国会図書館蔵の「主要都市戦災概況図」に残されているとコピーで示された。**2…軍都だった春日井の戦争の足跡**はコープあいち提供の資料で紹介された。名古屋陸軍飛行場、名古屋陸軍鷹来工廠、名古屋陸軍造兵廠西山分署、名古屋陸軍鳥居松工廠、四ッ谷補給廠の位置と戦跡写真が載る。**3-1 春日井の戦跡遺跡**…軍用鉄道引込み線の西山鉄橋(桃山町)、鳥居松製造所慰霊碑(王子町)、鷹来製造所跡記念碑(鷹来町)、高蔵寺補給廠跡(玉野町)、春日井憲兵隊跡(鳥居松町)、鷹来製造所本館跡(鷹来町)の写真が示された。鷹来で犠牲者が出なかったのは、鳥居松で3発落とされた時に、次は鷹来だと逃げたからという、**3-2 戦争遺跡とは(省略)**、**3-3 …各地の戦争遺跡保存と活用の成果** 三重・山梨・兵庫・岩手・大阪・神奈川の遺跡ガイド

と「戦争遺跡の事典」「日本の戦争遺跡と遺産」「戦争遺跡から学ぶ～戦争の記憶」の出版物の表紙が紹介された。**3-4 愛知の戦争遺跡保存と活用**…「愛知の戦争遺跡ガイド」「フィールドワーク豊川海軍工廠」「平和への散歩道を」「愛知。名古屋の戦争遺跡」(名古屋市発行)、「愛知県史 別編」**4-1 名古屋市発行書籍に見る鷹来製造所**…「愛知の戦争遺跡」の章に「3 巨大化する名古屋陸軍造幣廠」がまとめられている。鳥居松製造所跡の航空写真と鷹来製造所の見取り図が載る。**4-2 愛知県史に見る鷹来製造所**…第2編各論には鷹来製造所の本館写真と屋上の偽装跡の写真が載る。**4-3 鷹来製造所の兵器生産**…春日井の戦争を記録する会『5 トン爆弾を投下せよ!』(1991)より7.7ミリ小銃弾の製造工程の写真と鈴木俊平『風船爆弾』(2001)からの風船爆弾の図が載せられた。**4-4 鷹来製造所での勤労働員 長野野沢高女**…『16歳の兵器工場』(手記、1975)、山宮静著表紙と「鷹来特攻隊」の詩が紹介された。その4番は「さらば我が友相寄りて 太平洋の荒波を 鎮めて立てり大東亜 輝く鷹来特攻隊 尽忠の意気燃ゆるかな」**4-5 米軍が調べていた鷹来製造所**…ターゲット インフォメーション シートが残されていた、**4-6 鷹来製造所に投下された模擬原爆パンプキン(長崎型原爆ファットマンと同型同重量)**…金子力・工藤洋三著『原爆投下部隊』から写真転載。**4-7 原爆投下部隊による49発の模擬爆弾投下**…国会図書館デジタルコレクションの灯火場所の地図紹介。**4-8 今も残る鷹来製造所本館(名城大学農場)**…写真6枚 **5-1 豊川海軍工廠跡地の保存**…写真6枚 **5-2 豊川海軍工廠跡地の利用**…全体図と名大研究施設図 **5-3 2018.6.9 豊川海軍工廠平和公園開園**…写真4枚および平和交流館のパンフレット。以上21枚の資料を用意され、丁寧な説明がなされた。

II.2 番目のパネリストは名城大学職員の大脇肇氏で名城大学農学部附属農場の歴史を紹介



大脇 肇 氏

されています。昭和25年農学部開設までの経緯が細かく紹介された。

III.3 番目のパネリストの渋井康弘氏は「陸軍鷹来工廠から見た

戦後日本」と題し、(1)鷹来工廠外観 (2)パンプキン爆弾と鷹来工廠 (3)鷹来工廠から見た日本産業 (4)鷹来工廠から見た米国軍事戦略 (5)



渋井康弘 氏

私たちは鷹来工廠を保存したいと思っています! と軍工廠による技術とは何だったのか、戦後の平和産業建設に生かされたのかを論考された。最後の保存の意義

①73年前に勉学の志を絶たれた動員生徒たちに思いをはせるために。学びは平和の中でこそ保証される。②広島、長崎を他人事ではなく自分事にするために。③死と隣り合わせの工廠動員で身に付けた技術・技能を戦後の平和産業に活かし、ものづくり愛知を築いてくれた方々を忘れないために。と鷹来工廠を保存する意義を熱く語られた。

パネリストの発表後、質疑の中で出た主な意見は次のようなものであった。

豊川市平和交流館と春日井市の交流を深める糸口となる、春日井市役所北にある「平和へ

の誓い」碑(平成7年8月6日、春日井市終戦五十周年記念事業委員会)の誓いを有効に活用できないものか。春日井市は「まちの宣言」として「平和都市」の宣言もしている。平和教育、産業技術史教育、ふるさとの歴史教育としての活用等々考えて行くべきではないか。現時点では、名城大学の見識によってかろうじて存続維持されている状況である。名城大学と行政は、地域連携などの方法で、登録文化財として申請する動きを加速できないか。地域資産としての価値を共有し、景観・まちづくりを行政との連携による地域固有の風景の保全と回復を推し進められないのか。文化財登録の条件は、50年以上の歴史があること、建物などが存続していること、現在活用されていることであるので旧名古屋陸軍造兵廠鷹来製造所は資格が有ると思います。等々の意見がだされました。

(記録：塚田忠雄)

## OPINION

# 「まちづくり」「地域活性化」の本質

本会(「ふるさと春日井学」研究フォーラム)は、「ふるさと意識」醸成の活動を通じてそれが、「まちづくり」「地域活性化」にどのように機能し、反映されて行くのかを実践活動の中から検証しようとするものです。特に、従来の公中心、経済中心の地域活性化策に対して、「ふるさと意識」による住民自身による「活性化」に視点を置いて「地方創生」「地域の活力」「活性化」を考えてみるのが重要であると考えています。真の意味の(住民のための)「まちづくり」「活性化」とは何かを論ずるためには、「活性化」の本質的問題は何かということを踏まえなければならないと思っています。

「ふるさと」を端に「地域」の空間的な捉え方だけではなく、住民の文化的精神的所産としてその醸成過程を重視して行くことが重要であると考えています。ここで言う「ふるさと意識」とは、地域にしかない、文化、歴史、自然に育まれて醸成され、その地域に「愛着」「誇り」がもてる「意識」を示しています。

2018年2月春日井市企画制作部企画政策課編集『第六次春日井市総合計画ー2018~2037私たちのまちの未来図』を発刊いたしました。第4部総合計画の実現に向けて 第1章・まちづくりの進め方「地域資源を活用した活力の創出」に取り組む。(P65) 3.「地域の歴史や良好な景観など本市の特性や魅力といった地域資源を最大限に活かし、誰もが愛着と誇りを持って住み続けることができるまちづくりを進めます。

(P71) 3-3. 戦略的かつ効果的の魅力発信の推進「住宅都市である本市は、市民の愛着と誇りを育み、いつまでも住み続けたいまちを築くほか、戦略的かつ効果的な魅力の発信を行うことで、若い世代から選ばれるまちとなることが必要です。」1. 愛着と誇りの醸成2. シティプロモーションの推進「情報発信をすることを促進し、まちの活力となる人や企業から選ばれ続けるまちをめざします。」(P72)と述べています。予てから本会が言い続けてきている「ふるさと意識なくして地域活性化なし」との考え方は、本質的に一致するところであることから本総合計画の方向性は本質的に正しいものであると思っています。

参考資料として本会が受けたヒアリング内容、提出資料などの主旨が十分に織り込まれた総合計画の内容となっており、前回の平成21年『総合計画』策定、25年改訂の内容からは、大きな意識転換が窺えるものとなっています。本質を踏まえた「地域活性化」とは、言い換えれば、「ふるさと意識」に基づいた「地域

力」を基盤として進められて行かなければならないと思います。地域住民（地元）の「ふるさと意識」、広義の市民の「ふるさと意識」意思決定権をもつ行政の「ふるさと意識」が相まって（協働）進められていくことが重要であると思います。

以上のような、本質的な考え方に基づいて、本会は、具体的なアクションプランを応援しています。

①鳥居松エリア商店街（鳥居松本通商店組合・鳥居松商店街振興組合・鳥居松広小路商店街組合・鳥居松駅前商店会）が取り組んでいる「書のまち春日井・街角メッセージ」ステッカー街灯貼付活動

②戦争・産業遺構（名城大学農学部附属農場事務棟：旧名古屋陸軍造兵廠鷹来工場跡）の保存

③鳥居松エリア歴史街道：下街道の歴史的建造物（市立郷土館）の保存活用

④小野道風関係遺跡碑の保存活用

等々です。

（文責：河地 清）

（次回案内）

## 第 63 回

ふ  
る  
さ  
と



### 春日井学研究フォーラム

**Forum** テーマ：『「まちづくり」を歴史の教訓に学ぶ』

—二宮金次郎の村おこし、人づくり考—

～報徳仕法を中心に～

日 時：平成30年9月2日（日）午後1時30分～4時

場 所：市民活動支援センター（ささえ愛センター）2階

TEL：0568-56-1943（〒486-0837 春日井市春見町3番地）

講 師：谷田 潔 氏（国際二宮尊徳思想学会会員）

※（非会員の方のみ資料代500円当日徴収させていただきます。）定員80名（定員でメ切ります）

※申し込み 事務局：〒486-0825 春日井市中央通り2-9 TEL・FAX0568-82-5973 会長 河地 清

mail address:kawachi-k@mb.ccnw.ne.jp

かすがい市民活動情報サイト：<http://kasugai.genki365.net/> ふるさと春日井学検索

フォーラム案内は中日新聞「ウィークエンドガイド」（毎週金曜日）近郊版に掲載します

## 64回

ふるさと



福澤諭吉



林 金兵衛

# と 春日井学研究フォーラム

Forum テーマ：『ふるさと春日井の危機を救った人々』

## —福澤 諭吉と林 金兵衛—

日 時：平成30年10月7日（日）午後1時30分～4時

場 所：市民活動支援センター（ささえ愛センター）2階

TEL：0568-56-1943（〒486-0837 春日井市春見町3番地）

パネリスト：西澤 直子 氏（慶應義塾大学福澤 研究センター教授）

河地 清 氏（「ふるさと春日井学」研究フォーラム会長）

近藤 雅英 氏（春日井郷土史研究会副会長）

※（非会員の方のみ資料代500円当日徴収させていただきます。）定員80名（定員で切ります）

※申し込み 事務局：〒486-0825 春日井市中央通り2-9 TEL・FAX0568-82-5973 会長 河地 清

mail address:kawachi-k@mb.ccnw.ne.jp

かすがい市民活動情報サイト：<http://kasugai.genki365.net/> ふるさと春日井学検索

後援：春日井市教育委員会